

【山崎主宰の俳句】

翔けるべし

山崎 聰

狼のように走りぬつちふる日

憲法の日堀の穴から顔のぞく

翼なくことばなくこどもの日の大人

八十八夜人体とうに濡れている

泣きたくば泣くべし青野翔けるべし

花檣病棟裏の夜と昼

走り梅雨にっぽんすでにうすあおく

うかうかと人の死に遇う青葉潮

緑陰のさしたることもなき二人

雲のよう放蕩のよう牛蛙